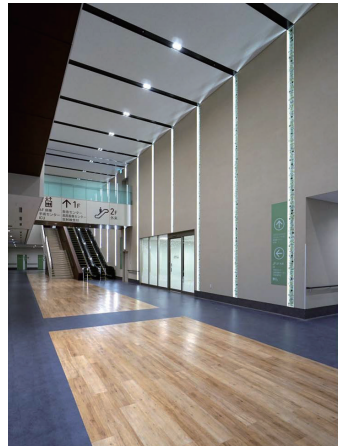


社会医療法人財団 白十字会 白十字病院



外観

福岡市西区に新築された「白十字病院」。大きな庇で来院者を迎える広いメインエントランスは、災害時にトリアージスペースとなる。高断熱の外壁や多くの省エネルギーシステムを採用、CASBEE福岡Aランクを獲得。



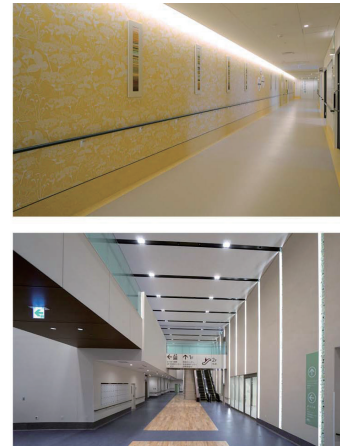
エントランス



1F入口付近には多機能トイレを設置。地域に開放され交流や市民講座など多目的に利用できる「いきいきホール」。災害時には処置室や病室として機能するよう、医療ガスや非常電源の医療設備が設置されている。



アートワーク



四季をテーマにした鮮やかな色彩の壁が来院者を迎える。清潔感と機能性を持たせたアートワークで、わかりやすく人を誘導するウェイ・ファインディング・システムを採り入れている。



1F 外来用女性トイレ



明るく親しみやすく、清潔感と機能性を持たせた病院全体の色彩計画が、トイレ空間にも生かされている。大便器は床の清掃性に優れた壁掛式を採用。さらに、すべてのブースにL型手すりを設置している。



1F 救急センター

救急センターの出入口には、衛生性に配慮して、肘まで洗うことができるスタッフ用手洗器を設置。



1F 救急センター

救急センターのトイレは、男女共用とし、広めのスペースを確保。車いす使用者などさまざまな身体状況の方が利用しやすい手洗器を備えた個室完結型となっている。



2F 泌尿器科



泌尿器科の外来トイレには、尿流量（尿の勢い）と尿量（排尿量）などを測定できる「尿流量測定装置」を導入している。



2F 採尿用トイレ

採尿用トイレには、採尿コップの提出窓口を用意。非接触で利用できるよう、自動洗浄小便器や自動水栓を設置し、衛生面に配慮している。



2F 診察室
手洗いコーナー

すべての診察室に手洗器を設置し、衛生面への徹底したこだわりが見られる。



2F 透析センター



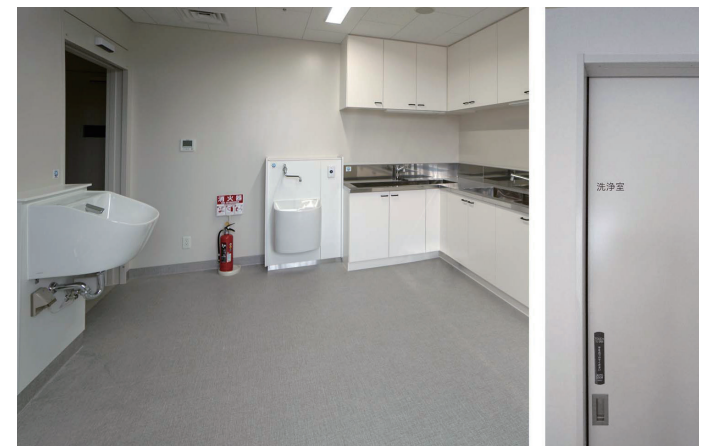
透析患者用の更衣室前には洗面器を設置。さらに、車いすで透析に訪れる患者のために、手洗器や手すりを設置したトイレを配置し、透析で気分が悪くなった際にも、安心して利用できる配慮がなされている。



2F 内視鏡センター



内視鏡の検査前に利用できるコンパクトなトイレを設置。プライバシーに配慮するためブースの壁を天井まで立ち上げている。手洗器は、空間を有効に活用できるコーナータイプを採用。



2F 洗浄室

内視鏡検査室横にある洗浄室の入口には、交差感染を防ぐため、手を近づけると開く自動ドアを採用。肘でレバー操作ができる汚物流しや、肘までしっかり手が洗えるスタッフ用手洗いを設置している。

社会医療法人財団 白十字会 白十字病院



2F 当直室
シャワールーム



当直室の横にはシャワールームを2ヶ所配置。洗面台にはグッドデザイン賞を受賞したシングルレバー水栓、シャワーユニットには手元で操作できるクリック式のエアインシャワーと手すりを採用している。



3F リハビリテーション
センター

リハビリテーションが必要な患者に対し、両側から介助ができるように大便器を斜めに設置。床には排水口を設け、排泄の失敗時などに対応できるようにしている。



3F スタッフ用女性トイレ

自然光を空間全体に取り込む明るい空間。落ち着いたあるペンダントライトの演出で、スタッフがリフレッシュ、リラックスできる工夫がされている。非接触の自動水栓と水じまいのよい洗面器で衛生面にも配慮。



3F 手術室用
女性更衣室



更衣室には手洗器がついた個室完結型のトイレ2ヶ所と脱衣所付きのシャワールームを設置。



4F スタッフステーション



スタッフの動線上に手洗器を適宜数ヶ所設置することで、必然的に手指の衛生を保てる工夫がなされている。スタッフステーションは各病棟の中央に配置され、病室を見渡すことができる。



4F 1床室



リゾトライくな落ち着いた雰囲気。個室。トイレにははねあげ手すりやL型手すり、洗面器を備えている。また、廊下の巾木には各階のテーマカラーが用いられ、自分が何階にいるかわかる工夫がされている。



4F 4床室

大きな窓から採光された明るい空間。居室を模した間仕切り壁の小窓により、プライバシーに配慮しながら自然光も取り込める。必ず病床に入る前に手を洗うよう、入口に洗面器を備えている。



4F 4床室トイレ

4床室では、トイレは室外に配置。夜間でも音を気にせず用足しが可能。スイングタイプの前方ボードで患者の自立促進と介助負荷軽減を両立。看護度により前方ボードに離床センサーがついているトイレもある。



4F 介助浴室

病床の浴室は介助浴室、介助シャワー室、シャワー室、洗髪室とバリエーションが豊富で、身体状況にあわせて選べるようになっている。

水まわりの特長

建物の特徴

福岡市西区の「白十字病院」は開設40周年を迎え、従来のケアミックス病院(466床)から、旧病院をリハビリテーション病院(160床と)とし、新たに急性期病院(282床)として新築移転。2つに分院化することにより、さらなる機能向上と専門性向上を図った。地域の健康を育み、安全安心を支える白十字病院には、いきいきホールやコミュニティーサロン、図書館、健康フィットネス広場を併設。地域との交流促進や住民の健康を育むとともに、さらに地域の災害拠点としても機能するような備えを充実。フィットネス広場にはマンホールトイレや釜戸ベンチを整備、エントランスや駐車場はトリアージスペースへの転用を想定、いきいきホールは処置室や病室として使用できるよう、医療ガスや非常電源などを整備している。

水まわりの特長

病院内の水まわりの特徴として、徹底した衛生性への配慮が生かされている。各区画の出入口や廊下、診察室など患者およびスタッフの動線を考慮した多くの手洗器を設置。洗浄室のドアや汚物流しの洗浄をセンサー式にするなど非接触への対応。患者用トイレはすべて清掃性のよい壁掛式大便器としウォシュレットを採用。患者用とスタッフ用の水まわりを完全に区分けし、それぞれに応じた器具選定と配置を実施した。さらに、安全・安心にリハビリテーションに取り組めるように患者の自立促進のための前方ボードウィングタイプや背もたれの採用、泌尿器科には尿流量測定装置を導入するなど、診療科目ごとの特性に沿った設備を備え最新の機器と設備で患者とスタッフへの思いやりを感じる施設となっている。

建築概要

名称	社会医療法人財団 白十字会 白十字病院
所在地	福岡県福岡市西区石丸4-3-1
施主	社会医療法人財団 白十字会
設計	株式会社日本設計 九州支社
施工	鹿島建設株式会社 九州支店
竣工年月	2021年2月
敷地面積	17,765.81㎡
建築面積	5,251.41㎡
延床面積	22,590.08㎡
構造・階数	鉄骨造・地上7階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49*系
壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系
ウォシュレットPS (擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF553*AUP系
柵付二連紙巻器:YH701
自動洗浄小便器:UFS900JCS
ハイドロセラ・フロアPU:AB690
壁掛ハイバック洗面器:LSA125CN
洗面器:L350系
壁掛洗面器:MLRB, MVRS
手洗器:LSE870APR
台付自動水栓:TENA41A, TEN86G
コンパクトオストメイトバック:UAS81LDB2NW
パブリック用折りたたみシート:EWC500R系
スタッフ用手洗器:LS850APA
パブリック用流し:UAS23B
前方ボード(スイングタイプ):EWCS740
浴室用水栓金具:TBV03410J
シャワーユニット:JSV0812U系